

映像を取り入れた言語教育のすすめ(1)

高 井 收

1. はじめに

わが国の学校教育において「使える英語」、「コミュニケーション能力育成」のための英語教育が叫ばれてから久しいが、依然として教科書中心の講読が主流と思われる。このような講読に対する批判は、様々なアンケート調査（例えば、英語教育実態調査研究会 1993, 大学英語教育学会 CCR 共同研究グループ 1994,）などから伺えるが、平成5年に出版された小樽商科大学の自己評価報告書「北に一星あり——小樽商科大学の発展をめざして——第1集」における英語の授業に対するアンケート調査の結果は当大学における学生の「生」の声を反映させている。そこでは、「ただ教科書を訳してゆき、ほぼ全時間、一方的に先生が授業を進行させて行くことに疑問を感じてきた」などの意見があり、学生は講読の授業においてもリスニングや会話ができ、外国の文化にも実体験として触れることができる多面的な授業を望んでいることが分かる。講読の授業を通して文法構造を把握し、文意を正しく理解する力をつけることは、我が国の諸事情を考えると、軽視してはならない指導法ではあるが、学習者のニーズをも考慮にいて、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるためにはどのようにすれば良いのであろうか。

問題はどのようにして外国語を通して、聞き、話す能力をつけ、総合的なコミュニケーションができるように指導していくかである。その一つの方法として映像を取り入れた言語教育を紹介したい。ここでは、大学の一年生および、2年生の教養レベルの英語教育を中心に考えていく。

2. 平行記号としての映像メッセージ

映像を取り入れた言語教育を考える場合、言語のメッセージに加えて、映像からくるメッセージが考えられる。映像から伝えられるものは、言語メッセージの伝達を助けるための補完的役割をしているとも言える。このような関係から小池(1993)は映像メッセージを「平行記号化されたもの」とよんでいる。彼によれば、「言語の真の意味は『丸ごと体験』の中に含まれる画像メッセージの働きにより、それらが統合され、蓄積され、取れんされていって、最終的に決定されていくと言うことである。」すなわち、多様な情報が映像からコンテキストとして伝わり、それと補完関係にある言語情報の理解に役立っていることになる。言語のメッセージを理解するためには量的にも、質的にも重要な働きをしている映像メッセージを利用しない訳はない。実際、我々の日常生活におけるコミュニケーション活動を見ても、その伝達の大半は言語以外の経路を経て伝わっていることを考えても、いかに視覚情報が大切かが理解できるであろう。

この視覚情報について、さらに学習者の理解度という点から論じているのが Arcario (1992) である。彼は視覚情報と言語情報との比率が、ビデオの内容理解に重要な要因があると述べている。すなわち、一場面における言語の密度が問題となり、そこでの会話が多くなればなるほど、それだけ学習者にとって難易度が増すと言う。

たとえば、映画「フィールド・オブ・ドリームズ」の一場面において、主人公であるレイが、

ある日とうもろこし畑で働いていると、どこからともなく「声」が聞こえてくる。“If you build it, he will come.” 始め、何のことかレイには理解できないのであるが、2回目に聞こえてきた時、レイが“If you build it,”で振り返ると、映像で「野球場」が映し出され、次に、彼が“he will come.”と振り返ると、そこには1900年前半に活躍し、今は亡き「野球選手（シューレス・ジョウ・ジャクソン）」が映し出される。この場面では映画を見ている学習者は“If you build it,”の“it”が「野球場」を指し、“he will come.”の“he”が「野球選手」を指している、ということは映像を見ればすぐに理解できる。ここでは、言語情報の指示語が映像情報そのものを直接指していて、ほぼ1対1の対応を示している。そして、それ以上の言語情報も映像情報も入っていない。

しかし、次の場面にあるように、ある夜、照明灯に照らされた、その球場におけるレイとシューレス・ジョウの2人の会話を見てみると、映像情報に比べて、言語情報の密度が増え、その難易度が増していることが分かる。

シューレス・ジョウ：What's with the lights?

レイ：Oh. All the stadiums have them now. Even Wrigley Field.

シューレス・ジョウ：Makes it harder to see the ball.

レイ：Yeah, well, the owners found that more people could attend night games.

シューレス・ジョウ：Owners.

ここで話題になっているのは球場の照明灯であり、それは映像情報からも判断できる。しかし、昔は選手にとって眩しい照明灯などはなかったが、オーナーの金儲けのために、ナイターをするようになったことなどは、言語情報から理解しなければならない。

このように、言語情報の密度が増すごとに、細かな内容把握が難しくなるが、平行記号としての映像からの情報は、言語情報と映像情報が「平行」なゆえに、映画の基本的な「話しの筋」を与えてくれると考えられる。これを言語情報に先立って与えれば、学習者が言語情報を聞いたときに、その登場人物が何を言わんとしているのか想像する「鍵」とすることができる。

3. ビデオ（映画）を用いた授業への応用

ビデオを授業に導入する際、これまでは、主にリスニングの力（聴解力）を伸ばすために利用されてきた。教える側はストーリーの筋によって場面を分け、その場面ごとに次の3つの活動を基に授業を組み立ててきた（たとえば、LLA 関東支部大学部会 1995）。まず、ビデオを見せる前に行う(1) Previewing Activities, ビデオの映像情報と音声情報を結び付け理解させる(2) Main Viewing Activities, それに、まとめとして、その場面に出てくる登場人物やストーリーに対する学習者の意見を問う(3) Post Viewing Activities を行い、学習者の英語でのコミュニケーション能力の養成に努めてきた。

しかし、ビデオ教材に英語のネイティブ・スピーカー向けに作られた映画を用いた場合、通常学生は話される英語のスピードなどに慣れていないため、一回の授業（90分）で3つの活動を行うことは、学習者個人の英語習熟度にもよるが、大学1、2年生には無理なように思われる。むしろ、ビデオ教材の特徴でもある「平行記号」としての映像情報を十分に活用すべきであると考えられる。すなわち、Previewing Activities に十分な時間をかけ、学習者がビデオの言語情報を

理解するのに助けとなる背景知識を、できるだけ多く映像情報で与えておくべきである。Previewing Activities では、これから見る場面の概要を理解させることが目的で、内容理解のために「鍵」となる単語や表現の学習、文化的背景の理解などが考えられるが、それに加えて、ビデオによる映像情報のみを利用した言語活動が考えられる。これはビデオの音声を消して、映像のみを見せるところから Silent Viewing Activity と呼ばれる。

4. Silent Viewing Activity

Previewing Activities の中の1つに Silent Viewing Activity があり、ビデオの内容理解のウォーミングアップとして利用される。活動の仕方はそれぞれのクラスによっても、学習者のレベルによっても、多少は異なってくると思われるが、ここでは、筆者が小樽商科大学1年生の英語のクラスで L.L. を使っておこなったユニット3の授業を一例として紹介したい。まず、Silent Viewing Activity に入る前に次のようなプリントの練習問題を利用して、その他の Previewing Activities を終えてしまう。

Previewing Activities

I. Read the following passages and answer the questions.

1. What is the “Black Sox” scandal?
2. Why do people call it “Black Sox”?
3. What was the grand jury’s decision on this case?
4. What did Judge Landis do on this case?

Sports, 1920

The “Black Sox” scandal threatens to undermine the prestige and popularity of America’s national pastime. Eight members of last year’s Chicago White Sox baseball team are indicted in September for fraud in connection with last year’s 5-to-3 World Series loss to Cincinnati (see 1921).

Sports, 1921

Chicago judge Kenesaw Mountain Landis, now 53, has been named first commissioner of professional baseball in January. Eight members of the 1919 White Sox team go to trial in June on charges of accepting bribes from gamblers to throw the Series (see 1920), all eight are acquitted, but Judge Landis, who presided over the grand jury that indicted them, bans them all from organized baseball for life. Included is Joseph Jefferson “Shoeless Joe” Jackson, 33, who played flawless ball in the 1919 Series and hit the only home run.

ここでは、ユニット3で話題となる「野球の八百長事件」について、参考となる記事を読み、質問に答えるようになっている。あらかじめプリントを配布し、予習に課しても良いし、学習者の英語習熟度にもよるが、質問には5分ぐらいで答えることができる。次に、ストーリーにでてくる野球の用語を、その和製英語と比較し、この映画を見る背景知識とする。この練習問題も5分か10分ぐらいで終えることができる。

II. Choose the ones which are Japanese English (和製英語), then write the correct English

words underneath.

Four ball, Straight, Windup, Nighter, Triple, Double, Entitled two base hit, Southpaw, Catcher, Batting average, Touch out, Top batter, Ball park, Home in, Home run, Liner, Back net.

Japanese English

- | | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 1. | 2. | 3. | 4. | 5. |
| 6. | 7. | 8. | 9. | |

Silent Viewing Activity は Previewing Activities のなかでも、一番最後に行い、つぎの3段階に分けてクラス活動している。まず、1つのビデオ画面を利用して、インフォメーション・ギャップを作る。学習者同士のコミュニケーション活動を養成するために、学習者をペアに組み、どちらか一方に映像を見せ、その画面に映し出された事柄、状況、登場人物の表情などを相手に口頭で伝える活動である。伝えられた方には画面が隠されているので、自分の相手が口頭で説明する事柄をノートに書き取る。途中で、役割を交代し、お互いが、なるべく平等にその役割をこなせるようにする。つぎに、見終わった後で、2人で相談しながらその場面のストーリーを、英語で要約する。最後に、数組のペアに自分達が作り上げたストーリーを口頭発表させ、クラス全体がそれを評価する。評価基準はスピーチの基礎的な項目を4つ挙げ²⁾、5段階評価をし、クラスの学習者それぞれがコメントを加えて、発表者に渡される。下に、ユニット3における Silent Viewing Activity のプリントでの指示を掲げておく。

III. Silent Viewing Activity

Tell your partner what you are seeing on the screen either in Japanese or in English, and summarize the story of the scene without listening to the sound track. Use the key words given in each section.

Start Talking.

the field lights, a glove, to toss a ball

Switch your role.

Mark (Annie's brother), Dee (Annie's sister), Annie's mother

Chicago White Sox teammates

5. おわりに

映像を取り入れた英語教育の一例として、Silent Viewing Activity を紹介した。ここでは、映画のストーリーを通して、一つのテーマについて学習者同士がコミュニケーションを取りながら、お互いの英語表現力を伸ばして行くことに目標が置かれている。学習者のペアの一方に映像を隠すことによって、インフォメーション・ギャップを作り、コミュニケーションを取る機会を与え、2人の共同作業によって、ストーリーを英文でまとめ挙げる。そして、それをクラスで発表することによって、学習者全員からの評価を得る。ここでの教師の役割は学習者に英語で表現する機会を与え、動機付けを行い、その表現方法の助言を与えることである。

学習者も中学、高校と英語を勉強してきて、大学生にもなれば、ある一定の基礎的なレベルの英語力は「言語知識」として修得しているはずである。大学の授業では学習者の持っている「言

語知識」を活性化し、自己表現を通して「言語使用」に結び付ける機会と、場を与えることが大切である。「もう、一方的に教えられるのは十分だ」という学生の叫びが聞こえてきそう。

註

- 1) たとえば Mehrabian (1968) によれば、メッセージの7%が言語によるもので、抑揚や音調の変化によるものが38%、残りの55%は顔の表情や動作によって行われるという。
- 2) 評価項目は下記の通り。1. Eye contact (原稿に頼りすぎなかったかどうか) 2. Loudness (十分よく聞こえたかどうか) 3. Contents (内容は適切で、よくまとまっていて、分かりやすかったかどうか) 4. Rhythm (英語らしいリズムかどうか) 5. Feedback (興味が持て、質問や意見を述べようという気になったかどうか) なお、授業内容の詳細は Takai (1996) 参照。

参考文献

- LLA 関東支部大学英語部会 1995. 「映画を利用した異文化理解の教材開発」スクリーンプレイ編集部編集『映画英語教育のすすめ — A Guide for Movie English Education —』スクリーンプレイ出版株式会社
- 小樽商科大学自己評価委員会 1993. 『北に一星あり — 小樽商科大学の発展をめざして — 第一集』庶務課企画広報係.
- 小池生夫 1993. 『英語のヒアリングとその指導』大修館書店.
- 大学英語教育学会 CCR 共同研究グループ 1994. 「全道大学英語教育の実態調査 — 道内12大学4年目学生アンケート調査を踏まえて —」『言語文化部紀要』第25号. 北海道大学
- 大学英語教育学会 (JACET) 内英語教育実態調査研究会 1993. 「21世紀に向けての英語教育 — 全国実態調査を踏まえて —」『英語教育』別冊・4 Vol.42 No.4. 大修館書店
- Mehrabian, A., 1968. "Communication Without Words," *Psychology Today*, 2(4)
- Takai, Osamu 1996. "Teaching Learning Strategies by Using Video," 『人文研究』第92号. 小樽商科大学